

令和 5 年度葛飾区水害ハザードマップ説明会

地域別水害リスクまとめ(東部地域)

食断地又

【一つの河川が氾濫する恐れのある場合】

- 東部地域は、江戸川の氾濫する場合、特に注意が必要です。
- 荒川が氾濫しても、中川や新中川が氾濫水をせき止めるため、東部地域の浸水リスクは低くなっています。
- 中川の上流部が氾濫しても、大場川が氾濫水をせき止めるため、東部地域の浸水リスクは低くなっています。
- なお、荒川や中川が氾濫した場合、西部地域の要配慮者や、付き添いの方の避難所として、東部地域の避難所を開設します。

【高潮や複数の河川が氾濫する恐れのある場合】

- 中心気圧 930hpa 以下の台風の前報円が東京地方を含むと予測した場合や荒川流域(岩淵地点上流域)での3日間積算流域平均雨量が概ね 400mmを超える可能性があるとして予測された場合、江東 5 区による広域避難の共同検討を開始した旨の情報発信をします。この場合、広域避難を含めた検討をお願いします。
- 特に、江戸川沿いの家屋倒壊等氾濫想定区域や、浸水継続時間が1週間以上の区域にお住まいの方は、浸水しない階に居住していても命の危険がありますので、広域避難を前提として、検討ください。
- また、人工透析をしている方など、継続的な医療行為が必要な方は、命を守るために、早めの広域避難をお願いします。